

<第1章> 洗礼

第1節 男の子と女の子とテント

あなたはこの絵のような男の子や女の子じゃないと思います。戦争中の私たちの町では、こんな服を着た子供はいないでしょう。私は、あなたにこんな服を着てほしいなんて、願っていません。人間の価値は、着ている服では決まりませんからね。

たとえあなたが、こんなかわいい服を着た子供でなくても、この世界にいる人は、みんな神様によって造られたのです。もちろんあなたの両親は、あなたが造られる時、神様に協力しました。神様はこの世界で何か仕事をする時は、ほとんどいつもそこで生きている人々を使って行われます。しかし、あなたに命を与えることができるのは神様だけです。

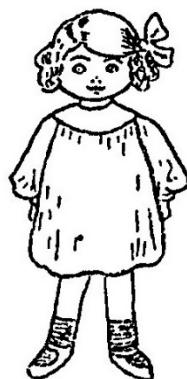
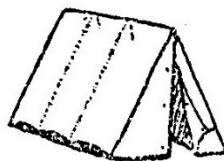
(創世記2章7節を読んでみなさい)

神様はあなたを肉体と靈魂に造られました。だから、あなたは今、肉体と靈魂で存在しています。

あなたの肉体は今、大きく変化しています。少々のケガは治ります。手や足の爪はグングン伸びるので、切らなければなりません。子供の歯は抜けます。あなたの肉体は、生まれた時と同じではありません。そして、あなたが大人になった時は、今のあなたとも違っているでしょう。

でも、あなたにかわりはありません。なぜなら、本当のあなたというのは、キャンプの時にテントの中で生活しているキャンパーのように、肉体の中で生活している靈魂だからです。“靈魂”というのは、何かを好きになったり愛する“心”とか、何かを勉強して知ったり考えたりする“精神”とかを合わせたようなものです。

いつの日にか、あなたの肉体は、年取ってやつれはてるか、あるいは交通事故にあうかして、死ぬでしょう。すると、あなたの靈魂は、ちょうどキャンパーがテントから出て歩きだすように、肉体から出てこの世界を超えた生活に入って行きます。靈魂は、死にません。本当のあなたは死ぬことはありません。(ヨハネ5章24節を読んでみなさい) あなたには決して終わりはないのです。



WHAT ARE YOU ?

あなたはどんな存在ですか？

第168節 長い目的

私たちは祈祷書のカテキズムの最後に来ました。

しかし、卒業ではありません。まだ同じ大切な目的が続いています。あなたがたとえどこに行こうと、あなたは、この世で神様を知り、愛し、そして、仕えます。その結果、神様との天国での永遠の幸福が与えられます（2）。

この最後の絵は、ウィルソン神父が1925年から見つづけてきた書斎の窓からの風景です。窓と言えば、こんな話があります。

二人の男が刑務所の格子窓越しに外を見ました。ひとりはぬかるみを見ました。もうひとりは星を見ました。

ある意味で、あなたの永遠の靈魂がいつかは朽ち果てるテントである肉体（1）の中にいるのは、刑務所に入れられているようなものです。キリスト教信仰のすべての目的（恵み、信経、サクラメント、祈り、聖徒の交わり、聖餐など）は、全生涯を通して、私たちに見上げるのを可能にさせることです。下を向くことではありません。神様や神様のもの、神の民を見上げて、来たるべき都を探し求める信仰（ヘブライ13章14節）を持つことです。確かに、“あなたは神様から来て、神様に属し、神様に行きます”（8）。下ではありません。ぬかるみと罪ではないのです。

『さようなら（Good bye）、親愛なる人々（dear）（7）』。それは『神様があなたと共におられますように（God be with you）』という意味です。あなたが、たとえ辛く暗い悲しい日々にあっても、楽しく明るい幸せな日々と同様に、神様を常に身近に感じられましますように、そして、あなたのために与えられたこの世の日々が終わる時は、刑務所のドアを開いて、永遠の靈魂である本当のあなたは自由になって、神様の御顔を仰ぎ、御姿を拝して満ち足りますように（詩編17編15節）。

私があなたに教えてきたことは、いつでもどこでも役に立つと思います。

あなたに神様の祝福がありますように。

